



かわら版 KAWARABAN



第58回全国手話通訳問題研究集会
～サマーフォーラムinきょうと～

＝壱＝

2025年8月9日
(速報第10号)

Instagramからも
発信しています！



ようこそ京都へ

～平和と人権はいのち 仲間と共に京都から～

8月8日、京都テルサのテルサホールは北海道から
沖縄までの参加者で満席。第2会場も地元・京都の参
加者約130人で満席となる中、式典・記念講演など
が進められました。



「平和と人権はいのち
仲間と共に京都から」
の集会テーマに込めた
想いを述べ、「集会だ
けではない京都の文化
も楽しんで！」と呼び
かけた古田実行委員長。



「手話施策推進法の施
行、デフリンピック開
催の節目の年！連盟と
全通研の培ってきた歴
史を振り返り、力を合
わせていきましょう」
と石橋連盟理事長。



「京都での開催を喜び合
いたい。全通研創立50年
を昨年迎えたのを基に、
さらなる発展をめざして
引き続き研究・運動を進
めていきます」と渡辺全
通研会長。

来賓の方々からご挨拶をいただきました

多くのご来賓にお越しいただきました。そのうち4名にご挨拶を賜りました。挨拶や
自己紹介を手話で表現をされる場面もあり、参加者から温かい拍手が送られました。



京都府知事
西脇隆俊氏代理
副知事 古川博規氏



京都市長
松井孝治氏代理
副市長 吉田良比呂氏



厚生労働大臣 福岡資麿氏代理
厚生労働省 自立支援振興室
室長補佐 吉元信治氏



文部科学大臣 あべ俊子氏代理
特別支援教育課
特別支援教育調査官 村上学氏

「優生保護法問題の全面解決に向けて」



全日本ろうあ連盟
吉野幸代理事

優生保護法問題に対する連盟の取り組みの経過を紹介するとともに、今後の全面解決に向けて、全通研と土協会と手をたずさえて、今はまだ声をあげられない被害者を掘り起こしながら、優生思想の根絶にさらに取り組んでいくとの決意を語りました。

特別報告・特別講演

きこえない・きこえにくい人に関わる最新の情勢について、連盟が2本の特別報告を行い、厚労省から特別講演をいただきました。

「手話施策推進法」



全日本ろうあ連盟
河原雅浩副理事長

6月に施行した手話施策推進法について、連盟を中心にして取り組んできた15年の経過と、同法のポイントを紹介。法施行をスタートとして、見直しの目途とされる今後5年間に集中して取り組んでいくと話しました。



厚生労働省 自立支援振興室
室長補佐 吉元信治氏

手話施策推進法の条文をポイントを挙げて示しながら、具体的な施策との関係や、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法との関係を説明。若年層の手話通訳者養成モデル事業の今後の実施の見通しや、遠隔手話通訳を災害時に活用するためには、平時のうちのからの体制整備が必要であることを各自治体に呼びかけていることなどを紹介しました。

オープニング

躍動感あふれるダンスで 集会を応援！



京都聖母中学校・高校ダンス部による躍動感あふれるダンスで開会。チームごとに交替しながら、軽やかで、時には力強いステップを踏み、スカートをひるがえしたりしながら、作品を披露しました。演技後の挨拶は、「私たちのダンスを見てくださり、ありがとうございました。楽しんでいただけましたか？」と登場した生徒全員が手話で挨拶。満場の会場から、盛大な拍手が沸き上がりました。



参加者の声



会場は満席、沖縄から北海道まで訪れていて、すごい熱気を感じました！
(京都府 H₂Oさん)

※お名前は実名もしくは、イニシャルやニックネームを記載しています

京都らしいお茶席でのおもてなしが嬉しかったです。
(福島県 匿名希望)

【ご注意ください！】

参加者の皆様へ

本日より8月11日にかけて、全国的に大雨特別警報が予想されています。
それぞれ安全を第一に、お帰りの時間をご判断ください。